

報告第8号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和3年9月6日提出

逗子市長 桐ヶ谷 寛

経営状況

第30期事業年度 事業報告
自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

第31期事業年度 事業計画
自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

株式会社 パブリックサービス

第30期 事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

株式会社パブリックサービス
代表取締役 稲垣 正

I. 事業の概況

事業の経過および成果

(1) 当事業年度の概要

① 全体

令和2年度は年間を通じて日常生活そのものが新型コロナの脅威に曝され活動や行動の制限を強いられました。政府から緊急事態宣言が2度発出され、感染拡大防止対策があらゆる場面で強化され公共施設等が度々休館となる状況に至りました。結果、特に受託事業および指定管理事業（市民交流センターの運営）の定性面および定量面に影響が出ております。

・新型コロナ感染拡大における令和2年度の業務別実施・休業状況の一覧

期間：令和2年4月1日から令和3年3月31日

緊急事態宣言発出期間：令和2年4月7日から5月25日。令和3年1月8日から3月21日

凡例：○は平常通り実施。△は規模縮小もしくは条件付きで実施 ×は休業。

【逗子市・受託事業】	4~5月	6月	7月	8~10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月
福祉バス	×	×	△	△	○	○	○×	×	×
登下校児童交通整理	×	○	○	○	○	○	○	○	○
学校開放（久木小）	×	×	×	△	△	○	○×	×	×○
〃（池子小・沼間小）	×	×	×	×	×	○	○×	×	×○
駐輪駐車場（4ヶ所） 容器包装プラスチック選別、公園ハイキングコース等の受託業務	○								

【指定管理】	4~5月	6月	7月	8~10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月
市民交流センター	×	×	△	△	○	○	○×	×	×○

② 事業別概況

【受託事業】

- ・福祉バス業務は市の方針で当社所有の3台のバスを市に売却、ナンバープレートは事業用の緑から自家用の白に変更になりました。当期は逗子アリーナ（体育館）を経由して高齢者センターに向かうルートを新設しました。
- ・街区公園・ハイキングコース管理業務は自然災害被害が少なく順調に遂行できました。
- ・駐輪駐車場（市内4ヶ所）は感染拡大防止対策を講じて運営しましたが、利用者数の減少が見られました。
- ・登下校児童交通整理は小坪小、久木小の2校で4月から始めましたが、池子崖崩落事故の影響で池子小が期中より業務に加わりました。
- ・学校開放業務は感染拡大防止対策の影響で稼働が減少しました。
- ・容器包装プラスチック選別業務では容プラ処理設備の更新（建替え）があり、令和2年4月からは当社社員を増やして葉山町の受入れをスタートしました。容プラごみはコロナによる増量分を

含め数量は前年度の1.7倍に増加しました。

- ・その他の受託業務は順調に遂行いたしました。

【指定管理事業】

市民交流センターはコロナの影響で利用者数は減少しました。地下温水プールは感染拡大防止対策で時間を区切り利用者人数を制限して運営を行いました。また、会議室利用が低調な中、ご家庭や様々な場所から会議に参加ができるZOOMを用いたサービスを立ち上げご要望に応じております。

【自主事業】

ホーム&ビジネス業務ではコロナの影響は限定的でした。市内大型小売店舗等向けの人材派遣業務は前年度並みで推移。ガーデンケア（一般家庭の草刈り・樹木剪定）も前年度と同様の受注件数を維持できました。医療施設の管理業務等も問題なく遂行しています。私立中高校の登校時見守り、パソコン保守業務および市内特別養護老人ホーム宿直業務も順調です。その他、一般家庭の掃除・片づけ業務等も受注を増やしました。

（※）6ページ、11ページに「事業一覧」を掲載しています。

【市民貢献事業】

市内老人介護施設2か所に貸与しておりましたAI介護ロボット・ペッパーの市民貢献事業は名残惜しくも令和2年10月で3年の期間満了となり終了いたしました。また、当期より開始いたしました「空き家活用助成事業」および「ゴミネットボックス購入補助事業」は市の広報活動も功を奏し順調なスタートを切る事ができました。当該事業は次年度も引き続き実施いたします。

（2）安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社の事業を遂行する上で車の両輪にあたり、全職場共通の重点項目として気を緩めることなく注力してまいりました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関しては徹底して実施いたしました

① 安全第一の徹底

- ・安全管理に対する緩みはないか、部長が各職場の主任と連係してチェックを行っています。
- ・年3回の主任会議および毎月開催の衛生委員会を通じ安全衛生管理を行っています。
- ・社長および部長が主要職場を巡回する年2回の安全パトロールでは指摘事項を提示してPDCAを回しております。
- ・指差呼称は各職場で励行しています。
- ・各職場はマスク、手指の消毒、3密の回避を励行しています。
- ・安全衛生引当金を有効に使用して安全衛生の強化を行っています。
- ・当期より新たに自然災害対策に注力しております。

② 顧客サービス向上

- ・各施設の利用者である市民の皆様並びに顧客である市役所および民間企業様に満足戴けるサービスを提供すべく日々努力を重ねています。
- ・派遣業務に携わる社員を対象に市職員の協力を得てスキルアップ研修および健康講座を実施しました。

(3) 高齢者雇用について

① 健康管理

- ・当社には新型コロナ感染症の重篤化の恐れが高い高齢者が多いので全職場に対してマスク着用、手指のこまめな消毒および3密の回避を義務付けています。
- ・「新型コロナに感染した場合、感染の疑いがある場合、同居家族等に陽性者が発生した場合」は本社へ速やかに連絡を入れることを義務化しています。
- ・社員には毎年1回、健康診断を受診することを雇用継続の条件にしており、一人一人の診断結果は記録保管して健康管理に役立っています。
- ・64歳以下の社員にはインフルエンザの予防接種代金の補助をいたしました。

② 社員統計

当期末の社員総数は前年度末より2名減の128名、その内女性は2名増の17名です。全社の平均年齢は68.1歳でした。内訳は第一事業部70.3歳。第二事業部（市民交流センター）55.6歳です。

（表1）をご参照ください。

【表1】

○雇用者統計：受託事業・指定管理・自主事業（ホーム&ビジネスの請負を除く）。

（単位：人）

事業年度（期末日）	社員総数	内訳				備考
		60歳以上男性	60歳以上女性	60歳未満男性	60歳未満女性	
25期（平成28年3月末）	128	104	13	2	9	注
26期（平成29年3月末）	124	106	8	2	8	〃
27期（平成30年3月末）	117	99	6	3	9	〃
28期（平成31年3月末）	115	102	5	2	6	〃
29期（令和2年3月末）	130	113	7	2	8	〃
30期（令和3年3月末）	128	109	11	2	6	〃

（注）市民交流センター職員については、採用時の年齢制限を設けておりません。

○登録者統計：ホーム&ビジネス請負業務。

（単位：人）

事業年度（期末日）	登録者数	内訳				備考
		60歳以上男性	60歳以上女性	60歳未満男性	60歳未満女性	
28期（平成31年3月末）	14	7	7	0	0	-
29期（令和2年3月末）	6	1	5	0	0	-
30期（令和3年3月末）	7	1	6	0	0	-

※30期：60歳以上男性の内1名が社員兼任。

(4) 損益の状況

① 概要（表2を参照下さい）

- ・当期の全社売上高は194,659千円、前年同期比で6.2%減、金額で12,772千円の減収でした。事業別売上：受託事業98,203千円、指定管理事業46,875千円、自主事業49,580千円。

【受託事業売上】

当期売上98,203千円は前年同期比3.0%減、金額で3,055千円の減収でした。

(売上内訳)

(税抜き：単位 千円)

業務	30期(A)	29期(B)	差異(A-B)	備考
※福祉バス	7,579	17,125	△9,546	コロナの影響。
駐輪駐車場(市内4ヶ所)	52,331	51,366	965	休業無し。
※登下校児童交通整理 (久小・小坪小・池子小)	2,020	995	1,025	池子小増加。
※学校開放(久小・池小・沼小)	1,084	3,009	△1,925	コロナの影響。
容器包装プラスチック選別	22,948	16,721	6,226	休業無し。葉山追加。
その他受託業務 (公園管理・広報板掲示・自転車 保管場所・屋外広告対策)	12,240	12,040	199	休業無し。
計	98,203	101,258	△3,055	—

※を付した業務売上は出来高に拠ります。

【指定管理事業売上】

当期売上 46,875 千円は前年同期比で 16.8%減、金額で 9,490 千円の減収でした。

(売上内訳)

(税抜き：単位 千円)

収入別	30期(A)	29期(B)	差異(A-B)	備考
指定管理料	37,727	30,471	7,256	30期はⅡ期目初年度
会議室利用料	3,193	5,709	△2,516	減少
プール利用収入	4,562	14,049	△9,487	〃
プーチカ(水泳スクール)	0	898	△898	〃
その他収入	1,392	5,239	△3,847	〃
計	46,875	56,366	△9,490	備考

【自主事業売上】

当期売上は 49,580 千円、前年同期比で 0.5%減、金額で 226 千円の減収でした。

(売上内訳)

(税抜き：単位 千円)

業務	30期(A)	29期(B)	差異(A-B)	備考
ガーデンケア	25,450	25,350	99	主に個人宅向け草刈り、樹木剪定
医療機関 施設管理	9,489	9,380	108	市内医療法人管理・当直・清掃
ビジネスサポート	13,301	12,414	886	企業向け 派遣業務ほか
ホームサポート	1,295	1,234	61	個人向け 清掃ほか
市役所地下駐車場	0	1,193	△1,193	前年度で業務終了。
その他	43	232	△189	—
計	49,580	49,806	△226	—

各事業においてコスト節減に努めましたが新型コロナウイルスの影響が大きく、売上の減少および休業手当の支給等により売上総利益(粗利)は前年度比 15,810 千円減の 3,811 千円となりました。

販売費および一般管理費は前年度比 760 千円減の 18,583 千円。

営業損失は前年度比 15,050 千円減の△14,771 千円でした。

営業外収益は預金利息 2 千円、安全衛生引当金戻入 431 千円、特定求職者雇用開発助成金 2,700 千円、雇用調整助成金収入 8,561 千円、市民交流センター温水プール委託費返還金 2,098 千円、その他収入 799 千円で合計 14,593 千円でした。

(参考) 雇用調整助成金および温水プール委託費返還金は営業外収益に計上されておりますが、両収益は売上原価の減額項目であり、実質の売上総利益は下記の調整後売上総利益と見做すことができます。

(税抜き：単位 千円)

売上総利益 (粗利)	雇用調整助成 金収益	プール委託費回 収額	調整後売上総利 益(粗利)
3,811	8,561	2,098	14,471

営業外費用は安全衛生費用 431 千円、安全衛生引当金繰入 1,700 千円、披露山レストハウス営業損失 26 千円、その他 61 千円で合計 2,219 千円でした。

※尚「安全衛生引当金繰入」1,700 千円は「特定求職者雇用開発助成金」を原資にした引当金です。

経常損失は前年度比 4,152 千円減の△2,398 千円でした。

特別利益は新事業開発準備金取崩益 100 千円、市民貢献準備金取崩益 4,744 千円の合計 4,844 千円でした。

特別損失は福祉バス売却損 381 千円、新事業開発費償却 100 千円、市民貢献事業費償却 4,744 千円。合計 5,226 千円でした。

税引前当期損失は前年度比 4,533 千円減の 2,779 千円。

法人税、事業税および住民税等 200 千円は前年度と同額。

当期純損失は前年度比 4,533 千円減の 2,979 千円でした。

【表 2】損益計算書(要約)

(税抜き 単位：千円)

	30 期実績	30 期予算	29 期実績
(売上高)			
・ 受託事業	(98,203)	(98,118)	(101,258)
・ 指定管理事業	(46,875)	(45,128)	(56,366)
・ 自主事業	(49,580)	(46,070)	(49,806)
売上高合計	194,659	189,316	207,431
売上原価	190,847	181,281	187,809
売上総利益(粗利益)	3,811	8,035	19,622
販売費および一般管理費	18,583	18,940	19,343
営業損失	△14,771	△10,905	278
営業外収益	14,593	2,002	2,774
営業外費用	2,219	878	1,299
経常損失	△2,398	△9,781	1,753
特別利益	4,844	8,300	1,945
特別損失	5,226	8,300	1,945
税引前当期利損失	△2,779	△9,781	1,753
法人税等	200	200	200
当期純損失	△2,979	△9,981	1,553

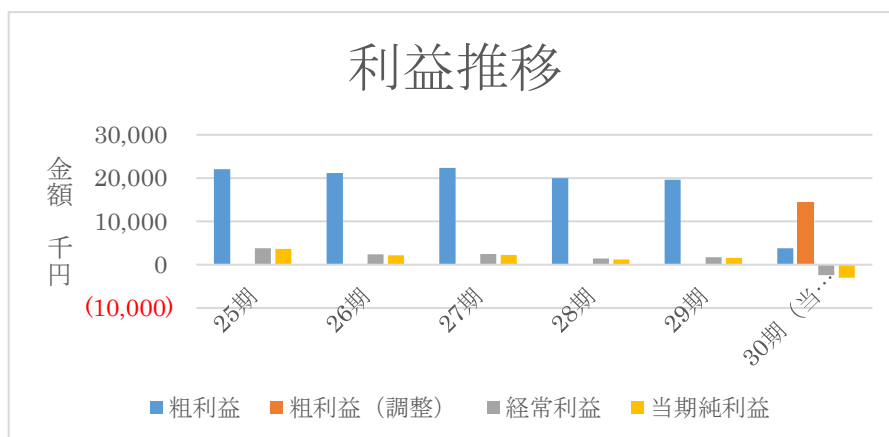
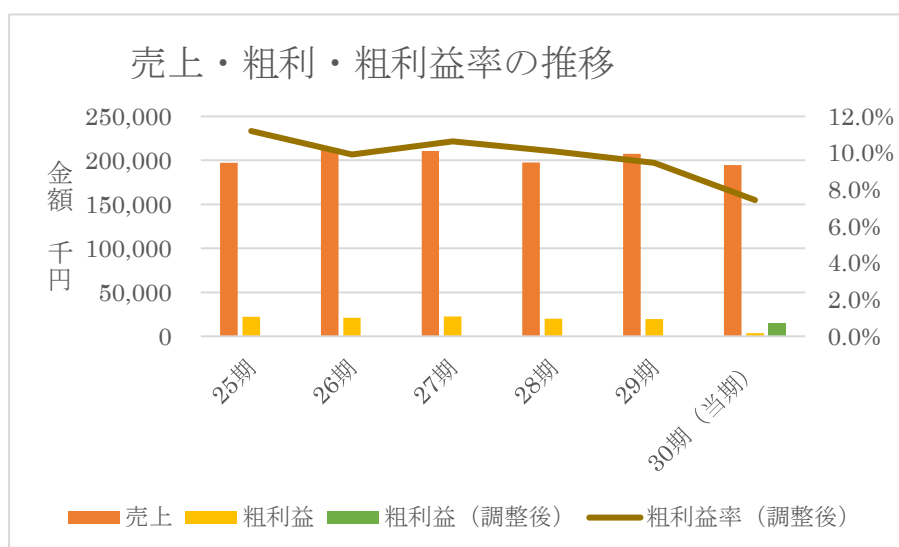
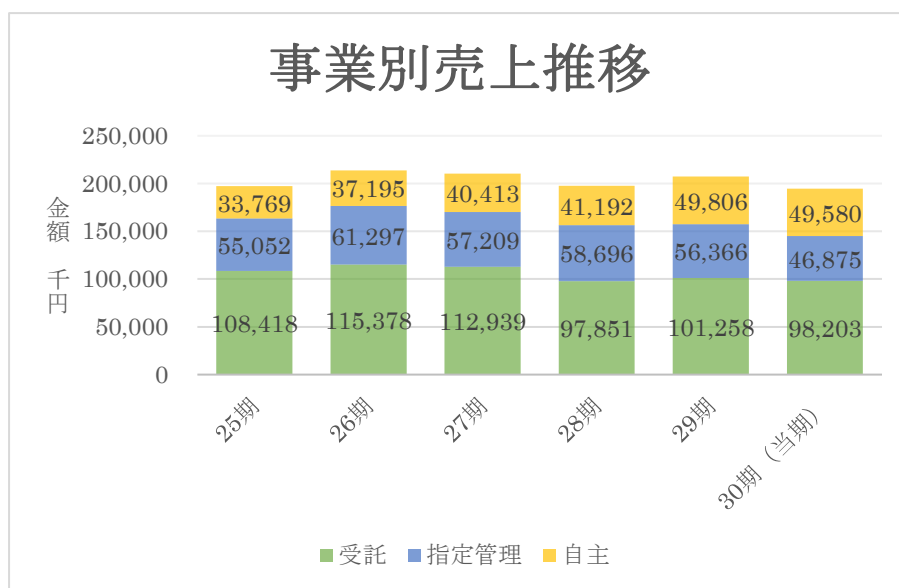
(注) () は売上高の内訳。

【表 3】 第 30 期 事業実績に関する事項

事 業		売上高 (千円)	利用者数等	備 考
受託事業（年間契約）				
	福祉バス運行管理（出来高）	7,579	1,629 人（往復延べ人数）	前年度：35,203 人
	街区公園・ハイキングコース維持管理	8,126	-	75 公園、4 ハイキングコース
	広報板掲示等業務	1,433	-	62 ヶ所
	清水橋 南・北駐輪駐車場管理	36,407	南・自動車 13,533 台	前年度 26,172 台
			南・定期自転車 1,688 台	〃 1,924 台
			南・定期バイク 2,910 台	〃 3,958 台
			北・一時自転車 29,912 台	〃 48,962 台
			北・一時バイク 36,154 台	〃 45,135 台
	JR 逗子駅 西・東駐輪場管理	15,924	西・定期自転車 3,629 台	前年度 4,061 台
			西・定期バイク 1,937 台	〃 2,336 台
			西東・一時自転車 35,337 台	〃 62,843 台
			西東・一時バイク 17,882 台	〃 21,009 台
	高齢者センター他グリーンメンテナンス	211	-	春・秋各 1 回
	小坪保育園樹木剪定	58	-	園内管理
	自転車等保管場所	2,102	自転車 198 台	前年度 437 台
			バイク 16 台	〃 36 台
	登下校児童交通整理（出来高）	2,020	-	小坪小、久木小、池子小
	学校施設開放管理（出来高）	1,084	4,804 人	久木小・沼間小・池子小：前年度 18,454 人
	容プラ処理業務	22,948	ペール 1,416 トン	前年度 816 トン
	屋外広告物対策事業	309		違反広告監視
	【計】	98,203		
指定管理者事業				
	会議室・市民交流スペース等利用者数	46,875	40,679 人	前年度 114,199 人
			プール利用者数	17,955 人
	【計】	46,875		
自主事業				
	ガーデンケア	25,450	685 件	前年度 679 件
	民間施設管理・清掃・当直	9,489	-	市内医療法人 2 ヶ所
	ホーム&ビジネス・サポート	14,597	-	請負、派遣
	その他	43	-	チラシ掲示ほか
	【計】	49,580		
(注)	披露山レストハウス売店	205	売上高	当期 26 千円の損失。

(注) 披露山レストハウス売店は共同事業であり売上高は損益計算書には反映しておりません。持分相当の出資金 (B/S) と損益 (P/L) が当社財務諸表に反映しております。

(5) 事業損益の推移 (6期分)



(6) 財政の状況

【表 4】貸借対照表(要約)

(税抜き：単位 千円)

		30 期	29 期
		令和 3 年 3 月 31 日	令和 2 年 3 月 31 日
資産	現預金	79,847	95,446
	その他流動資産	18,258	12,392
	固定資産	1,319	3,560
	合計	99,425	111,399
負債 資本	流動負債	20,873	25,023
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	利益準備金	120	120
	新事業開発準備金	15,464	15,565
	市民貢献準備金	8,714	12,422
	その他利益剰余金	40,852	44,868
	合計	99,425	111,399

(7) 新事業開発費の使用実績

「新事業開発準備金」は新規事業の開発を目的とする基金で利益剰余金を原資としています。

第 21 期株主総会（平成 24 年 6 月）で株主の了承を戴きました。

当期（第 30 期）使途内訳

・新事業開発の内訳

事業名	実績（千円）	第 30 期末残高 （千円）	備考
くらしのガイド広告掲載 2020-2021 年度版	100	15,464	-

(8) 市民貢献事業の使用実績

「市民貢献準備金」は逗子市民への貢献を目的とする基金で利益剰余金を原資としています。

第 25 期株主総会（平成 28 年 6 月）で株主の了承を戴きました。

当期（第 30 期）使途内訳

・市民貢献事業の内訳

事業名	実績（千円）	第 30 期末残高 （千円）	備考
人工知能ロボット・ペッ パー君	1,220	-	老人介護施設 2 ヶ所に貸与。 当期で 3 年間で終了。
逗子市空き家バンク登 録・活用支援	2,885	-	当期スタート。次年度継続。
ごみステーション用ネッ トボックス	637	-	当期スタート。次年度継続。
合計	4,744	8,714	-

2. 業務運営事項

- ・令和2年4月 逗子市等との間で令和2年度受託等の契約を締結
- ・令和2年5月 第29期 監査役監査の実施
- ・令和2年6月17日 第29期定時株主総会開催
- ・令和2年7月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・令和2年6月以降 第30期取締役会を6回開催いたしました

3. 会社に対処すべき課題

(1) 安全衛生の強化

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。全社一丸となって新型コロナウイルス感染拡大防止に努めます。

(2) 顧客サービスの品質向上

接客マナーを良くすると共に顧客対応をしっかりと行いサービス品質向上に努めます。

(3) 市民貢献事業

逗子市および逗子市民の公共ニーズおよび暮らしの課題の解決に結びつくように市民貢献事業準備金を有効に活用します。

(3) 新規事業の開拓

ホーム&ビジネス・サポート事業を拡大発展させ市民生活の利便性を高め、また市内法人の事業を支援いたします。

(4) 雇用の促進

ホーム&ビジネスを拡大して雇用の促進を図ります。女性就業者の雇用および活躍を一層推進してまいります。

II. 会社の概況

1. 会社概要（令和3年3月31日現在）

設立年月日	平成3年（1991年）8月26日
払込資本金	1,040万円
主な事業内容	公共施設管理業務等
社員の状況	128名（うち女性17名） 平均年齢68.1歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子4丁目948番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子5丁目4番33号 逗子会館2階
事業年度	4月1日から翌年の3月31日までの1年

2. 株式の状況（令和3年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208株（1株額面5万円）

(2) 株主および出資状況

株主名	持株数	出資比率
逗子市	106株	50.96%
株式会社横浜銀行	10株	4.81%
かながわ信用金庫	10株	4.81%
湘南信用金庫	10株	4.81%
逗子市商工会	5株	2.40%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1株	0.48%
市民株主 49名	64株	30.77%
その他	2株	0.96%

3. 取締役および監査役（令和3年3月31日現在）

職名・氏名	主な役職名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 若菜敏孝	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
取締役 湊屋孝之	逗子市商工会顧問、鎌倉法人会監事
取締役 玄 真琴	逗子葉山経済新聞編集長
監査役 古畑 優	株式会社横浜銀行逗子支店長

III. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当ありません。

IV. 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス

当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。

2. コンプライアンス

法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。

3. リスク管理

万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

4. 内部統制

内部統制が機能する組織および業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

受託事業 委託者：逗子市
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行
市内街区公園（75ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理
広報板掲示等業務
駐輪場および駐車場（清水橋南駐輪駐車場、同北駐輪場、JR逗子駅西駐輪場、同東駐輪場）4ヶ所の管理運営
高齢者センター・グリーンメンテナンス
小坪保育園樹木剪定 園内管理
自転車等保管場所管理
登下校児童交通整理配置
放課後・土曜日などの学校施設開放管理業務（久木小、沼間小、池子小）
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務
屋外広告物対策事業

指定管理 委託者：逗子市
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業

自主事業 委託者：民間
ガーデンケア（市内ご家庭やマンションのお庭の手入れ）
逗葉地域医療センター様の施設管理・清掃・当直業務
逗子桜山クリニック様の当直業務
逗子清寿苑様の庭園管理
ホーム&ビジネス・サポート事業 （人材派遣）大型小売店、私立中高学校、高齢者介護施設 ほか （請負）個人宅・共同住宅・シェアハウス等の掃除、片付けなど

自主事業 共同事業で運営
披露山レストハウス売店

（注）事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示です。
金額は表示単位未満の端数を切り捨てて、またパーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して、表示してあります。
数字の前に付く△はマイナスを意味します。

第30期 貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	453	未払費用	14,019
預金	79,393	未払法人税等	200
売掛金	11,687	未払消費税等	3,706
立替金	100	預り金	497
仮払金	465	仮受金	11
前払費用	250	前受利用料	174
未収入金	5,755	安全衛生引当金	2,264
流動資産合計	98,105	流動負債合計	20,873
II 固定資産		II 固定負債	
		修繕引当金	3,000
(有形固定資産)		固定負債合計	3,000
建物	0	負債合計	23,873
構築物	3	(純資産の部)	
車両運搬具	884	I 株主資本	
工具器具備品	0	資本金	10,400
(投資その他の資産)		利益剰余金	
披露山売店出資額	430	利益準備金	120
		その他利益剰余金	65,031
		新事業開発準備金	15,464
		市民貢献準備金	8,714
		繰越利益剰余金	40,852
固定資産合計	1,319	純資産合計	75,551
資産合計	99,425	負債・純資産合計	99,425

(注)有形固定資産の減価償却累計額 : 14,791千円

第30期損益計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	98,203	
指定管理事業	46,875	
自主事業	49,580	
売上高合計		194,659
売上原価		190,847
売上総利益		3,811
販売費及び一般管理費		18,583
営業損失		△14,771
営業外収益		
受取利息	2	
安全衛生引当金戻入益	431	
特定求職者雇用開発助成金	2,700	
雇用調整助成金	8,561	
プール委託費返還金	2,098	
その他収入	799	
営業外収益合計		14,593
営業外費用		
安全衛生費用	431	
安全衛生引当金繰入	1,700	
その他損失	88	
営業外費用合計		2,219
経常損失		△2,398
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	100	
市民貢献準備金取崩益	4,744	
特別利益合計		4,844
特別損失		
固定資産売却損	381	
新事業開発費償却	100	
市民貢献準備金償却	4,744	
特別損失合計		5,226
税引前当期純損失		△2,779
法人税、住民税及び事業税		200
当期純損失		△,2979

第30期株主資本等変動計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	利益剰余金						株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金 合計		
			別途積立金	新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	13,000	15,565	12,422	31,868	72,975	83,375	83,375
当期中の変動額									
別途積立金の繰越利益への戻入			△ 13,000			13,000		0	0
新事業開発準備金取崩益				△ 100			△ 100	△ 100	△ 100
市民貢献準備金への繰入					1,036	△ 1,036	0	0	0
市民貢献準備金取崩益					△ 4,744		△ 4,744	△ 4,744	△ 4,744
当期純損失						△ 2,979	△ 2,979	△ 2,979	△ 2,979
当期変動額合計	0	0	△ 13,000	△ 100	△ 3,708	8,984	△ 7,824	△ 7,824	△ 7,824
当期末残高	10,400	120	0	15,464	8,714	40,852	65,151	75,551	75,551

(附属明細書)

財 産 目 録
(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	453	現金
預金	79,393	普通預金、定期預金
売掛金	11,687	逗子市受託分、逗葉地域医療センター、ガーデンケア、逗子桜山クリニック、その他
立替金	100	社員立替金
仮払金	465	駐輪・駐車場、自転車保管場所 釣り銭
前払費用	250	賠償責任保険前払分、自動車リサイクル預託金
未収入金	5,755	雇用調整助成金、プール委託費返還金、ほか
建物	0	学校開放業務詰所2棟(2円)、逗子ビジネスオフィス改装工事(2円)
構築物	3	給排水設備
車両運搬具	884	軽自動車10台、バイク1台
工具器具備品	0	物置2棟、プールロッカー、池子事務所エアコン2機
披露山売店出資金	430	共同事業出資分
合 計	99,425	-

負 債 の 明 細	金 額	説 明
未払費用	14,019	従業員給与(3月分)、仕入債務
未払法人税等	200	逗子市、神奈川県
未払消費税等	3,706	鎌倉税務署
預り金	497	源泉税等、駐輪場ICカードほか
仮受金	11	自販機電気代
前受利用料	174	市民交流センター前受施設利用料
安全衛生引当金	2,264	安全衛生費充当
修繕引当金	3,000	修繕費充当
合 計	23,873	-

注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

(1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

(1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

(1-4) 計算書類作成のための重要な事項

① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

(2) 貸借対照表に関する注記

(2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

(3-1) 発行済み株式の数

普通株式

前期末株式数	208株
--------	------

当期末株式数	208株
--------	------

監査報告書

令和3年5月10日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 古畑 優 ⑩

私、監査役は令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第30期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

監査役の監査報告書 写

第 31 期 事業計画

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)

(1) 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大は未だ収束しておらず多くの地域で「緊急事態宣言」もしくは「まん延防止措置」が発令され安心出来ない状況にあります。一方で予定通りにワクチン接種が進捗すれば人々の不安感が薄らぎ徐々に落ち着いた日常が戻り、当社の事業がプラスに働くことを期待します。

(2) 事業目標

【受託事業】

- ① 容器包装プラスチック選別業務は葉山町受入れ 2 年目に入りますが、安全優先で業務に取り組み高品質なベールを産出できるよう努めてまいります。
- ② 福祉バスは逗子アリーナ経由、高齢者センターを結ぶ通常運行は引き続き行います。6 月からは市役所本庁と第 2 ワクチン接種会場（スマイル）の往復運行を開始いたします。
- ③ 駐輪駐車場管理運営は前年度の利用台数減少を受けて今年度は契約額の削減（工数減少）となりました。
- ④ 自転車保管場所業務は前年度の台数減少を受けて今年度は契約額の削減（工数減少）となりました。
- ⑤ 登下校児童交通整理は小坪小、久木小は年間実施。池子小学校は 7 月末で終了の予定です。
- ⑥ 街区公園・ハイキングコース管理、学校開放、その他の受託業務は引き続き堅実に業務を遂行します。

【指定管理事業】

指定管理業務（市民交流センター）はⅡ期の 2 年目に入りました。本年 5 月より市民交流センターは逗子市の新型コロナワクチン接種会場になっており、我々もサポートいたします。交流センター 2 階会議室は上半期ワクチン会場になっており、一般に貸し出しができない状況です。当社チームは会議室を使わずとも会議ができる ZOOM を用いた提案をおこない市民活動の活性化を支援します。地下温水プールは引き続きコロナ感染拡大防止対策を厳格に実施、万全の体制で運営を行います。

【自主事業】

- ・ホーム&ビジネス業務では派遣できる人材の確保に努め、派遣の仕事を増やして行きます。
- ・ガーデンケア業務は受注拡大を追いかけず熱中症予防、技術の向上並びに人材育成に注力します。
- ・民間施設管理は引き続き顧客満足度を高めるきめの細かい業務を遂行します。
- ・逗子市の課題解決を目指し、その中でビジネスとして成立するものであれば深耕してまいります。

(3) 第 31 期事業予算

- ・予算内訳は 3 部構成になっております。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

II：新事業開発に関する予算

III：市民貢献事業に関する予算

(予算概要)

第31期の予想全社売上高は205,874千円を想定。売上総利益は17,635千円。
販売費および一般管理費は19,000千円。営業損失△1,365千円。
営業外収益 2,102千円。営業外費用 500千円。経常利益 237千円。
特別利益 10,940千円。特別損失 10,940千円。
税前当期利益 237千円。税引後当期純利益 37千円。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

【受託事業】新型コロナの影響は続くと思われませんが前年度に比べ福祉バス、学校開放、その他業務も休止することなく稼働が可能と仮定します。今年度は予算売上高を前年度実績より1,668千円増加の99,871千円としました。

【指定管理事業】市民交流センターの今年度予算売上高は57,461千円を見込みます。但し、地下温水プール利用料収入は好転するも厳しい状況と予想し金額は保守的に見ております。

【自主事業】自主事業全体の今年度予算売上高は前年度比1,038千円減少の48,542千円を見込んでいます。ホーム&ビジネス1,962千円増加、ガーデンケアは3,450千円減少としました。

【売上総利益（粗利益）】17,635千円。利益率は前年度より改善する見込み。

【販売費および一般管理費】19,000千円を見込んでいます。

【営業損失】営業損失△1,365千円を予想しています。

【営業外収益】特定休職者雇用開発助成金1,000千円。安全衛生戻入500千円。

自販機収入600千円。受取利息2千円。

【営業外費用】安全衛生費用500千円。

【経常利益】237千円を見込んでいます。

II：新事業開発に関する予算

市内のニーズを洞察して必要性および継続可能性を重視した事業を開発します。
投資額は将来の収益での回収を目指します。

新規事業名	概算金額（千円）	経費内訳
ホームアンドビジネス、その他	5,000	初期投資費用。
合計	5,000	-

III：市民貢献事業に関する予算

空き家支援およびゴミネットボックス事業を継続します。

事業名	金額（千円）	備考
逗子市空き家バンク登録および活用支援助成	4,000	前年度から継続。
ゴミステーション用ネットボックス購入補助	1,940	前年度から継続
合計	5,940	

第 31 期 予想損益計算書

(期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日)

(税抜き 単位：千円)

	項目	第 31 期予想	第 30 期実績 (参考)
		①	②
予算 I	(売 上)		
	(受託事業収入)	99,871	98,203
	(指定管理収入)	57,461	46,875
	(自主事業収入)	48,542	49,580
	売上高合計	205,874	194,659
	売上総利益	17,635	3,811
	販売費および一般管理費	19,000	18,583
	営業利益	△1,365	△14,771
	(営業外収益)		
	受取利息	2	2
	安全衛生引当金戻入	500	431
	特定求職者雇用開発助成金	1,000	2,700
	雇用調整助成金	0	8,561
	雑収入	600	800
	合計	2,102	△14,593
	(営業外費用)		
	安全衛生費用	500	431
	安全衛生引当金繰入	0	1,700
	雑損失	0	88
	合計	500	2,219
経常利益	237	△2,398	
予算 II・III	(特別利益)		
	新事業開発準備金取崩益	5,000	100
	市民貢献準備金取崩益	5,940	4,744
	合計	10,940	4,844
	(特別損失)		
	固定資産売却損	0	381
	新事業開発費償却	5,000	100
	市民貢献準備金償却	5,940	4,744
合計	10,940	5,226	
	税引前当期利益	237	△2,779
	法人税等	200	200
	当期純利益	37	△2,979

△の金額はマイナスです。